

CE750

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CE750 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2014年10月7日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対する保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
EMC 情報	3
RoHS.....	3
SJ/T 11364-2006	3
安全にお使い頂くために.....	5
全般	5
ラックマウント	7
同梱品.....	8
本マニュアルについて.....	9
マニュアル表記について.....	10
第1章 はじめに.....	11
製品概要.....	11
特長.....	13
システム要件.....	14
コンソール.....	14
コンピューター	14
ケーブル	15
OS.....	15
製品各部名称	16
CE750L(ローカルユニット) フロントパネル	16
CE750R(リモートユニット) フロントパネル.....	17
CE750L/CE750R リアパネル.....	18
製品側面.....	18
第2章 ハードウェアセットアップ	19
ラックへの取り付け.....	19
セットアップ.....	21
製品の接地.....	21
セットアップ	23
接続図	24
第3章 操作方法.....	26
操作モード	26

操作モードの選択方法.....	27
画質補正.....	28
LED ランプの表示内容.....	29
CE750L(ローカルユニット).....	29
CE750R(リモートユニット).....	29
付録.....	30
製品仕様.....	30
トラブルシューティング.....	32
概要.....	32
SPHD コネクタについて.....	32

EMC 情報

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。

この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。

また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 のデジタル装置 Class A の規定に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提としています。(1)本製品による有害な干渉を発生しない。(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を全て受け入れる。

FCC による注意:本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

CE による注意:本製品は Class A に準拠した製品です。本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。その際は、ユーザーご自身にて、適切な処置を行ってください。

提案:FCC および CE 規格を確実に順守するために、STP ケーブルを使用するようにしてください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款，但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせる適切な処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。

- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

同梱品

CE750 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CE750L USB KVM エクステンダー(ローカルユニット) ×1
- ◆ CE750R USB KVM エクステンダー(リモートユニット) ×1
- ◆ USB KVM ケーブル (1.8m) ×1
- ◆ 電源アダプター ×2
- ◆ ラックマウントキット ×2
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、CE750 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

第1章 はじめに: CE750 を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明しています。

第2章 ハードウェアセットアップ: CE750 を簡単かつ安全な方法でセットアップするための手順について説明します。

第3章 操作方法: CE750 の機能概要および操作方法について説明しています。

付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明しています。

マニュアル表記について

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記してあります。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→ 矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

第1章 はじめに

製品概要

CE750 は、自動信号補正機能と RS-232 シリアルデバイスの延長機能を備えた、USB コンソール(USB キーボード、モニター、USB マウス)対応の KVM エクステンダーです。

リモートコンソールからコンピューターシステムにアクセスできるので、コンソールは便利な場所に置きながら、コンピューターシステムは例えば、埃などが多い工場現場や建設現場の過酷な環境から離れた安全な場所に置くことができるというように、CE750 は、どのような設置にも使用できます。

また、本製品は、セキュリティの観点から、コンピューターは安全な場所にセットアップし、なおかつコンソール部分はユーザーがアクセスしやすい場所に設置したいといったケースでも便利にお使いいただけますので、機密性の高いデータを扱うシステムへの導入にも適しています。

本製品は、従来の製品と比較して以下の点において優れているのも特長です。

- 1) ローカル/リモートの両ユニットに RS-232 ポートを追加 - ローカルユニット側のシリアルポートにはシリアルターミナルを、また、リモートユニット側のシリアルポートにはタッチスクリーン、バーコードリーダー等のシリアルデバイスをそれぞれ接続することができます。
- 2) ローカルユニットに専用 KVM ポート部分を追加 - すでにお使いの KVM スイッチを接続することで、その KVM スイッチの配下にあるコンピューターをリモートコンソールから操作することが可能になります。
- 3) ユニットの接続にはカテゴリ 5e 以上に対応した LAN ケーブルを使用 - 高価でかさばる専用ケーブルも不要。データ転送をよりコンパクトに、より便利に、そしてより安定した状態で行うことができます。
- 4) ユニット間の距離を自動認識し、距離に応じたゲイン調整を実現
- 5) 最高の信頼性と互換性を誇るカスタム ASIC 搭載

この他の本製品の特長として、8KV/15KV の ESD 保護および 2KV サージ保護の各機能、およびリモートコンソールの画質調整用プッシュボタン(リモートコンソールのみ)が挙げられます。

製品のセットアップは、コンピューターとローカルユニットを接続した後、ローカル/リモートの各ユニットをカテゴリ 5e LAN ケーブル(最大 150m)で接続し、リモートユニットにコンソールとして使用するキーボード、モニター、マウスをそれぞれ接続するだけです。簡単に行うことができます。

特長

- ◆ カテゴリ 5e に対応した LAN ケーブルを使用してローカル/リモートの各ユニットを延長—最大延長距離 200m
- ◆ デュアルコンソールオペレーション—ローカル/リモートの各ユニットに、それぞれ USB キーボード、USB マウス、モニターを接続可能
- ◆ 高い信頼性と互換性を誇る ATEN 独自開発の ASIC 内蔵
- ◆ USB キーボード、USB マウスの接続が可能な USB ポートを搭載
- ◆ RS-232 シリアルポート搭載 - シリアルターミナル(ローカルユニット)、または、タッチスクリーン、バーコードリーダー等のシリアルデバイス(リモートユニット)の接続が可能
- ◆ オーディオ対応 - スピーカー、マイクの使用が可能
- ◆ USB 過電流検知・過電流保護機能搭載
- ◆ プッシュボタンによる操作モードの切替(ローカルユニットのみ) - 操作モードをローカルまたは自動に切替
- ◆ 8KV/15KV ESD 保護(Contact:8KV、Air:15KV) および 2KV サージ保護
- ◆ ゲインコントロールの調整が可能 - 信号の強さを延長距離に最適な値に手動設定
- ◆ VGA 解像度 - 最大 1,920×1,200(30m)、1,600×1,200@60Hz(150m)、1,280×1,024@60Hz(200m)
- ◆ VGA、SVGA、SXGA(1,280×1,024)、UXGA(1,600×1,200)、マルチスキャンモニター対応 - ローカルモニターは DDC、DDC2、DDC2B 準拠
- ◆ ホットプラグ対応
- ◆ ラックマウント対応
- ◆ 簡単セットアップ - ソフトウェアのセットアップ不要。セットアップに必要な作業はケーブルを適切に接続するだけ
- ◆ ワイド画面のフォーマットに対応*

注意: ** ワイド画面からの EDID データは、ローカル側のビデオ出力ポートから送出されます。ワイド画面用モードやワイド画面対応のディスプレイの場合には、モニターをローカル側のビデオ出力ポートに接続するか、ATEN の EDID エミュレーター(型番:2A-130G)をお使いください。

システム要件

コンソール

- ◆ 本製品に接続して使用するコンピューターのうち、最も高い解像度に設定されているものの画面が表示できる、VGA、SVGA、SXGA、UXGA、マルチスキャンモニター

注意: DDC タイプのモニターをローカルユニットに接続する場合、リモートユニットに接続するモニターには、DDC モニターの仕様における最大解像度に対応可能なものをお使いください。

- ◆ USB キーボード

注意: ローカル/リモートの各ユニットには、異なるメーカー、または異なる型番の USB キーボードを接続してお使いいただくことが可能ですが、多機能キーボードをお使いの場合、サポート対象となるのが標準 104 キーを搭載しているもののみとなりますのでご注意ください。

- ◆ USB マウス

注意: ローカル/リモートの各ユニットには、異なるメーカー、または異なる型番の USB マウスを接続してお使いいただくことが可能ですが、サポート対象となるのが、マウスの左右の各ボタンおよびホイールの機能のみとなりますので、ご注意ください。

コンピューター

本製品に接続して使用するコンピューターには以下のハードウェア環境が必要です。

- ◆ VGA、SVGA、SXGA、USGA またはマルチシンクカード
- ◆ USB ホストコントローラおよびタイプ A の USB ポート

ケーブル

- ◆ 理想的な状態でデータ転送を行うためにも、またシステムのレイアウトを単純化させるためにも、本製品に同梱されている KVM ケーブルをご使用ください。
- ◆ ローカル/リモートの各ユニットの接続には、最低でもカテゴリ 5e に対応した LAN ケーブルをお使いください。この規格に満たないケーブルの使用は、ビデオ信号の劣化を招くおそれがあります。最適な状態でお使い頂くために、カテゴリ 5e 以上に対応した LAN ケーブルの使用を推奨します。

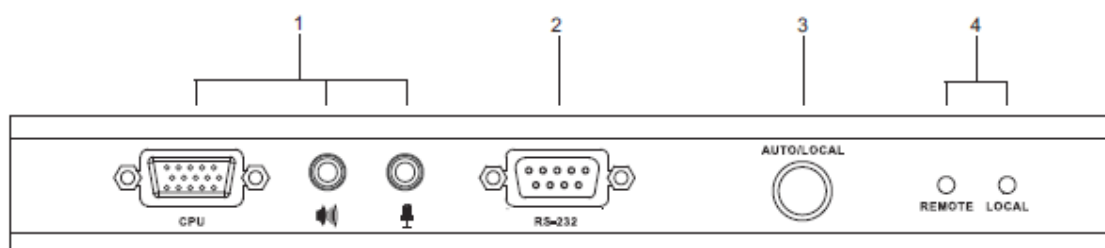
OS

本製品は以下の OS に対応しています。

OS		バージョン
Windows		2000、XP、Vista
Linux	RedHat	7.1 以降
	SuSE	9.0 以降
	Mandriva (Mandrake)	9.0 以降
Unix	FreeBSD	4.2 以降
Novell	Netware	6.0 以降

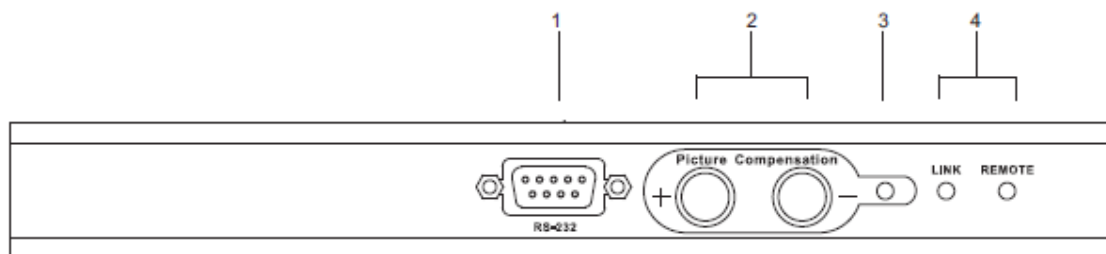
製品各部名称

CE750L(ローカルユニット) フロントパネル



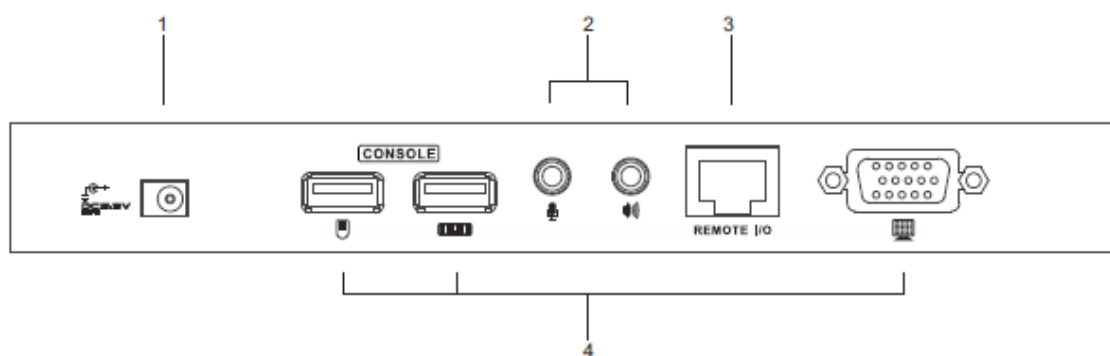
No.	名称	説明
1	KVM ポート	本製品に KVM スイッチを接続してお使いになる場合は、KVMケーブルの各コネクタを、本製品とKVMスイッチの対応ポートに接続してください。
2	RS-232 シリアルポート	シリアルターミナルとの接続に使用します。
3	操作モード切替ボタン	操作モードの切替を行います。 ◆ Local - ローカルコンソールのみシステムの操作を行うことができます。 ◆ Auto - ローカル/リモートの両コンソールがシステムの操作を行うことができます。 注意: デフォルトの操作モードは「Auto」に設定されています。詳細については p.26「操作モード」の内容をご参照ください。
4	LED ランプ	ローカル/リモートの各ユニットの状態を表す LED ランプです。詳細については、p.29「LED ランプの表示内容」の内容をご確認ください。

CE750R(リモートユニット) フロントパネル

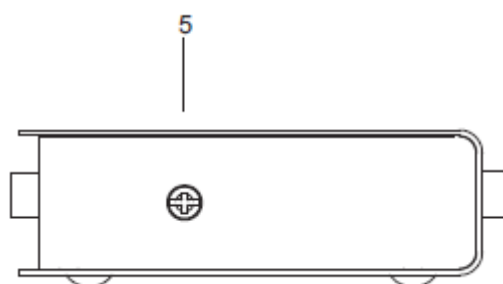


No.	名称	説明
1	RS-232 シリアルポート	タッチスクリーン、バーコードリーダー等の RS-232 シリアルデバイスを接続するポートです。
2	画質補正ボタン	リモートコンソールのビデオ画質の調整を行うボタンです。詳細については、p.28「画質補正」の内容をご参照ください。
3	画質補正 LED ランプ	ビデオ画質が調整されるとこのランプが点滅します。
4	LED ランプ	ローカル/リモートの各ユニットの状態を表す LED ランプです。詳細については、p.29「LED ランプの表示内容」の内容をご確認ください。

CE750L/CE750R リアパネル



製品側面



No.	名称	説明
1	電源ジャック	電源アダプターのケーブルをここに接続します。
2	オーディオポート	グリーンポートにはスピーカーを、ピンクポートにはマイクをそれぞれ接続します。
3	リモート I/O	ローカル/リモートの各ユニットを接続する LAN ケーブル (カテゴリ 5e 以上推奨) を接続します。
4	コンソールポート	ローカルまたはリモートコンソールとして使用するキーボード、モニター、マウスの各コネクタをこれらのポートに接続します。
5	接地ターミナル	接地線をここに取り付けます。詳細については、p.21「製品の接地」の内容をご参照ください。

第2章 ハードウェアセットアップ

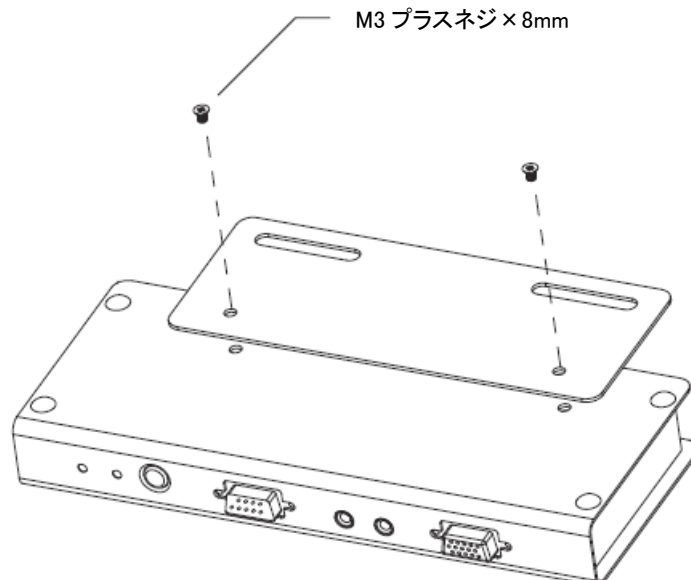


1. 機器の設置に際し重要な情報を p.5 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピューターの電源ケーブルも抜いてください。

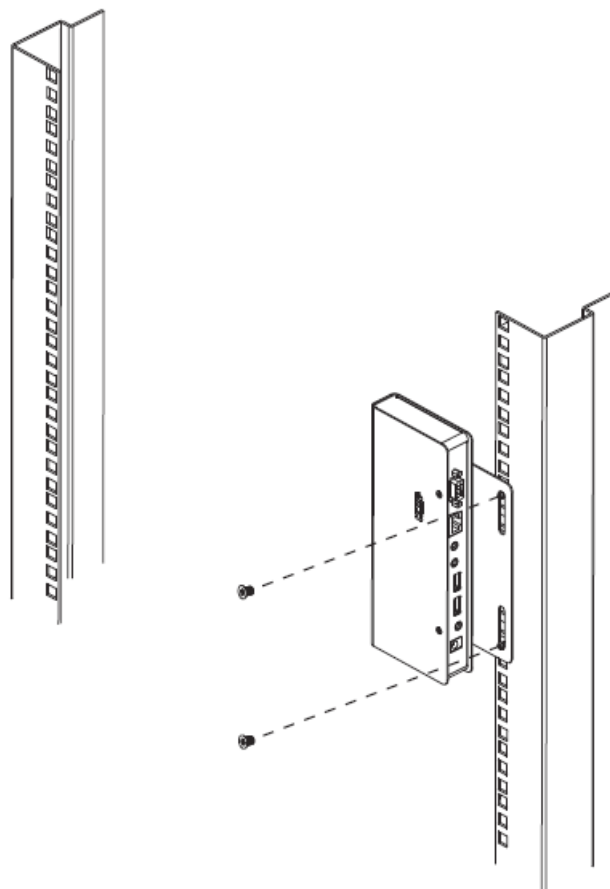
ラックへの取り付け

製品を設置後、固定して安全に使用できるように、本製品は同梱の金具を用いてシステムラックに取り付けることができます。取り付け作業は図を参考にしながら、下記の手順で行ってください。

1. ラックマウントキット付属のネジを使って、下図のように製品の上面または底面にマウント用の金具を取り付けてください。



2. 手順 1 で製品に取り付けた金具を、ラックの適切な場所にネジ止めしてください。



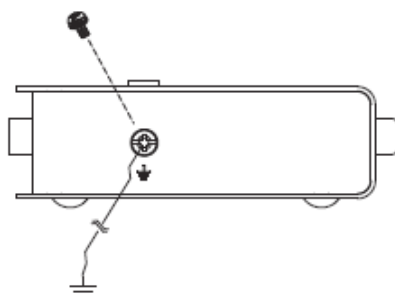
注意: ラックに金具を取り付ける際に必要となるネジは製品には同梱されていません。製品をラックにマウントする場合は、お手数ですが、お使いのシステムラックに適したネジを別途ご用意ください。

セットアップ

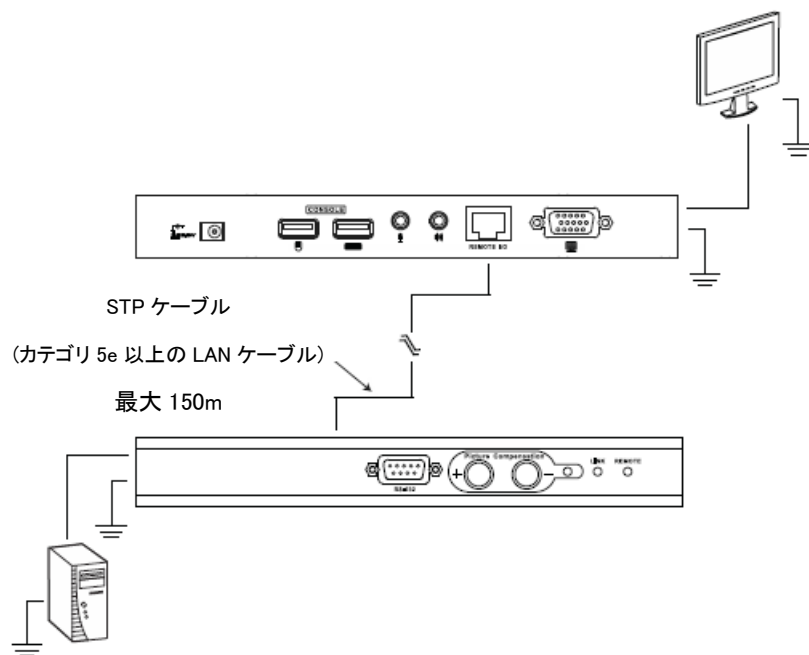
製品の接地

製品への損傷を避けるために、製品の接地を正しく行ってください。

1. 接地線の一端を製品の接地ターミナルに、もう一端を接地物にそれぞれ接続して、各ユニットの接地を行ってください。

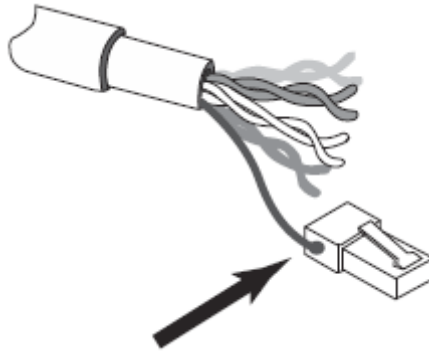


2. CE750L(ローカルユニット)に接続されているコンピューター、および CE750R(リモート)に接続されているモニターもそれぞれ正しく接地してください。

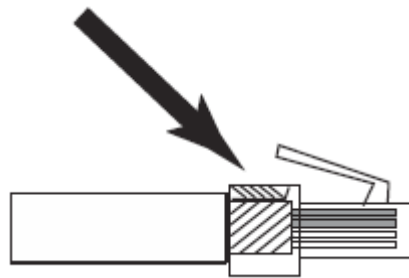


3. 接地の効果を高めるために、ローカル/リモートの各ユニットはSTPケーブルを使って接続してください。方法は2種類あります。

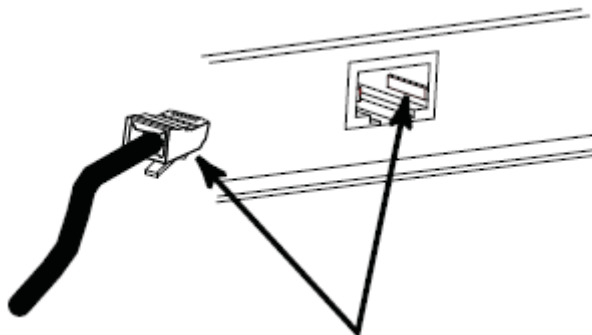
a) STPケーブルには、信号の伝送に使用する8線以外に接地線を有しているタイプがあります。このタイプのケーブルの場合は、接地線を図のようにRJ-45コネクタにはんだ付けしてください。



b) ケーブルシールドをアースとして使用しているタイプは、RJ-45コネクタの下図の位置がしっかりと固定されていることを確認してください。



いずれの方法においても、下図で示されているとおりに、STPケーブルが各ユニットのRJ-45リンクポートとしっかりと接していることを確認してください。



セットアップ

製品のセットアップに必要な作業は、ケーブルの接続のみです。接続に使用するデバイスはすべて電源が切られていることを確認してください。次のページにある接続図を参考にしながら、以下の手順でセットアップを行ってください。

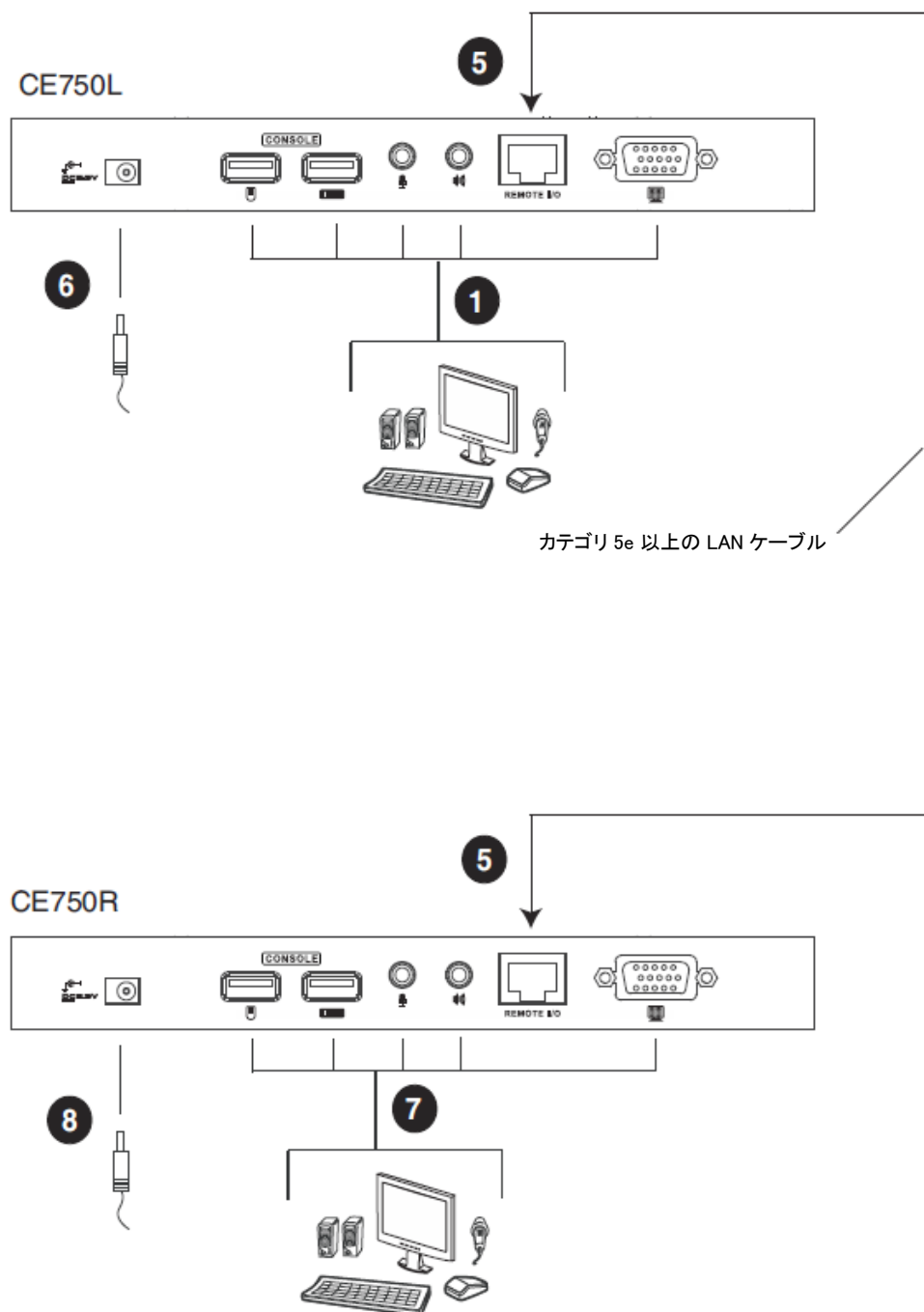
1. ローカルコンソールとして使用するデバイス(マウス、キーボード、モニター、マイク、スピーカー)の各コネクタを、ローカルユニット(CE750L)リアパネルのコンソールセクションにある対応ポートにそれぞれ接続してください。ポートにはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンと PC99 準拠のカラーリングが施されています。
2. 製品同梱の KVM ケーブルの各コネクタを、ローカルユニット(CE750)フロントパネルの CPU セクションにある対応ポートにそれぞれ接続してください。
3. 手順 2 で使用した KVM ケーブルのもう一端にあるコネクタを、ローカルコンピューターの対応ポートにそれぞれ接続してください。ポートにはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンと PC99 準拠のカラーリングが施されています。

注意: CE750 に KVM スイッチを接続してお使いの場合は、KVM ケーブルの各コネクタを KVM スイッチの対応ポートにそれぞれ接続してください。

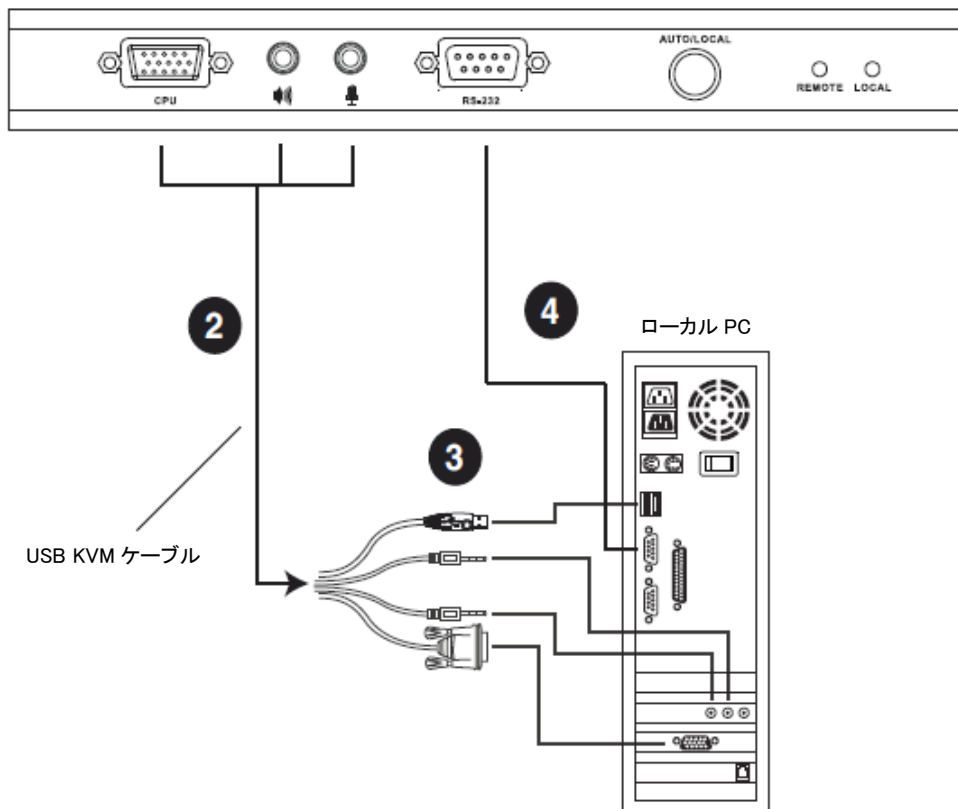
4. シリアルデバイスを延長する場合は、ローカルユニットの RS-232 シリアルポートとローカルコンピューターのシリアルポートをシリアルケーブルで接続してください。
5. カテゴリ 5e 以上に対応した LAN ケーブルの一端を CE750L のリモート I/O ポートに、もう一端を CE750R のリモート I/O ポートにそれぞれ接続してください。
6. CE750L に電源アダプターを接続し、その電源アダプターを電源に接続してください。
7. リモートコンソールとして使用するデバイス(マウス、キーボード、モニター、スピーカー、マイク)の各コネクタを CE750R のコンソール部分にある対応ポートにそれぞれ接続してください。
8. CE750R に同梱電源アダプターを接続し、その電源アダプターを電源に接続してください。

接続図

CE750L/CE750R リアパネル



CE750L フロントパネル



第3章 操作方法

操作モード

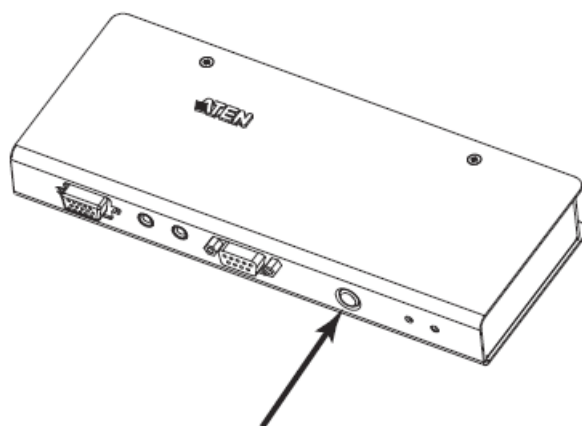
本製品には、「Local(ローカル)」、「Auto(自動)」、「Remote(リモート)」の3種類の操作モードがあります。詳細は以下の表のとおりです。

モード	説明
Local	ローカルコンソールのみ操作が可能です。このとき、リモートコンソール側のキーボード、マウスの操作は無効です。
Auto	ローカル/リモートの両方のコンソールからの操作が可能です。操作できるのは片方のコンソールからのみです。アイドル状態のコンソールからアクセスするには、アクセス中のコンソールからの入力が終わるまで待機する必要があります。
Remote	リモートコンソールのみ操作が可能です。CE750Lのボタンが「Auto」に設定されており、かつ、ローカルコンソールが待機中の場合にのみリモートモードに入ります。詳細は p.27 の注意書きをご参照ください。

注意: デフォルトの操作モードは「Auto」に設定されています。

操作モードの選択方法

CE750L フロントパネルにある操作モード切替ボタンを使うと、CE750 の操作モードを切り替えることができます。このボタンを押すと、操作モードを「Local」または「Auto」に切り替えます。

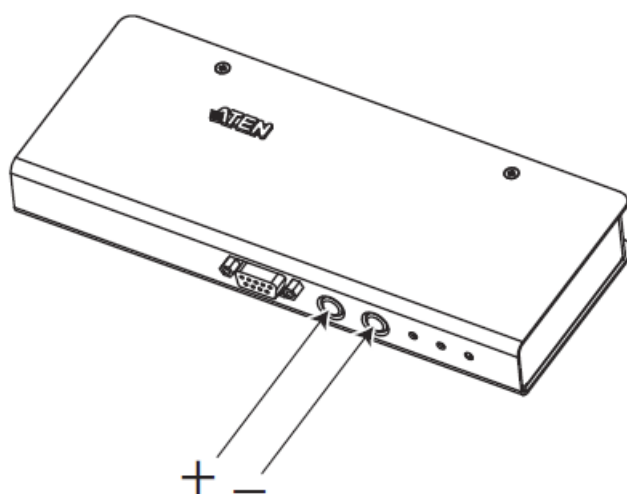


注意: リモートモードはボタンで選択できるモードではありません。CE750L の操作モード切替ボタンが「Auto」に設定され、かつ、ローカルコンソールが待機中のときに初めてリモートコンソールから操作を行うことが可能です。リモートコンソールのアイドル状態が 5 秒以上続くと、ローカルコンソールからアクセスできるようになります。

画質補正

一般的に、ビデオの表示画質は延長距離が長くなるにつれて劣化しますが、CE750R フロントパネルの画質補正ボタンを使うと、リモートコンソールにおけるビデオ画質を調整することができます。

信号を延長距離に最適な値に調節する場合は、ビデオ信号のゲインの値を+ボタンを使って増加、または、-ボタンを使って減少させてください。



LED ランプの表示内容

CE750 では、ローカル/リモートの各ユニットのフロントパネルに LED ランプを搭載しており、各ユニットの操作状況を示します。LED ランプの色と、その色が表す状態は、以下の表のとおりです。

CE750L(ローカルユニット)

LED	操作モード	
	Local	Auto
Local (グリーン)	ローカルコンソールがアクティブな時に点灯します(リモート LED ランプは消灯)。	ローカルコンソールがアクティブな時に点灯します(リモート LED ランプは消灯)。 リモートコンソールがアクティブな時は消灯します(リモート LED ランプは点灯)。 ローカルとリモートコンソールの両方ともがアクティブでない時には、リモート LED ランプと交互に点滅します。
Remote (グリーン)	REMOTE LED は消えています。	リモートコンソールがアクティブな時に点灯します(ローカル LED ランプは消灯)。 ローカルコンソールがアクティブな時には消灯します(ローカル LED ランプは点灯)。 ローカルとリモートコンソールの両方ともがアクティブでない時には、ローカル LED ランプと交互に点滅します。

CE750R(リモートユニット)

LED	説明
Link (グリーン)	ローカルユニットとの接続が正常である場合に点灯します。 ローカルユニットとの接続に問題があり、リモート LED が消えている場合に点滅します。
Remote (グリーン)	リモートコンソールがアクティブである場合に点灯します。 ローカルコンソールがアクティブである場合、また、ローカルユニットとの接続に問題がある場合にはランプが消えます。 システムがオートモードである場合には点滅します。
Picture Compensation (オレンジ)	画質補正ボタン(+または-)が押され、CE750 がビデオゲインの調整を行っている場合に点滅します。 ビデオゲインの調整と保存が完了すると点灯します。

付録

製品仕様

機能		CE750L	CE750R
コンピューター接続数		1	-
コンソール接続数		1	1
コンピューター側対応 インターフェース	キーボード	USB	-
	マウス		
コンソール側対応 インターフェース	キーボード	USB	
	マウス		
コンピューター側 コネクタ	キーボード	SPHD メス(イエロー)×1	-
	マウス		
	モニター		
	スピーカー	ミニオーディオジャックメス×1	-
	マイク	ミニオーディオジャックメス×1	-
コンソール側 コネクタ	キーボード	USB タイプ A メス×1	
	マウス	USB タイプ A メス×1	
	モニター	D-sub15 ピンメス×1	
	スピーカー	ミニオーディオジャックメス×1	
	マイク	ミニオーディオジャックメス×1	
	RS-232	DB9 ピンメス (ブラック)×1	DB9 ピンオス (ブラック)×1
スイッチ	モード選択	プッシュボタン×1	-
	画質補正	-	プッシュボタン×2
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	
ユニット間接続		RJ-45×1	
LED	ローカル	グリーン×1	-
	リモート	グリーン×1	
	リンク	-	グリーン×1
	画質補正	-	オレンジ×1

(表は次のページに続きます)

機能		CE750L	CE750R
キーボード・マウスエミュレーション		USB	
電源仕様(アダプター)		型番:0AD8-0605-24EG 入力:AC 100V~240V 出力:DC5.3V 2.4A	
消費電力		3.0W	4.2W
最大延長距離		200m	
VGA 解像度		最大 1,920×1,200@60Hz(30m)、 1,600×1,200@60Hz(150m)、1,280×1,024@60Hz(200m) ローカルユニットのみ DDC、DDC2、DDC2B 準拠	
動作環境	動作温度	0~50℃	
	保管温度	-20~60℃	
	湿度	0~80%RH、結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		490g	
サイズ(W×D×H)		200×80×25 mm	
同梱品		2L-5302U(1.8m)ケーブル×1 電源アダプター×2 ラックマウントキット×2 クイックスタートガイド×1	

トラブルシューティング

概要

操作上の問題は様々な理由によって起こります。問題が発生したら、まず、ケーブルが KVM スイッチおよびコンピューターの各ポートに正しく接続されていることを確認してください。

現象	対処法
ディスプレイに何も表示されない。	すべてのケーブルが正しくソケットに接続していることを確認してください。
表示画質が悪い。	ビデオの表示画質は最適な状態に調整することが可能です。画質補正ボタンの+ボタンまたは-ボタンを使ってビデオ信号のゲイン調整を行ってください。 リフレッシュレートを下げても表示画質を上げてください。

SPHD コネクタについて



本製品は KVM ポート、またはコンソールポートに対して SPHD コネクタを使用しております。コネクタの形状に改良を加えておりますので、専用の KVM ケーブルのみ製品に接続することが可能です。